大牟田市立平原小学校

１　本校のＥＳＤの特徴

本校は，中国大同市第十八小学校と長年交流を続け，国際理解教育の一環として，毎年，正月や春節を祝い合うプレゼントの交換を行っている。職員や留学生の訪問を受ける際には，お互いの国の自然や文化，生活の様子などを紹介し合うなどして交流を深めている。また，岡山市立御休小学校ともユネスコスクール交流校として，ビデオレターや手紙，活動を紹介するポスター等を通して交流を図っている。

また，地域の実情，社会の要請に基づいて，消費者教育・福祉教育についても継続して取り組みを進めてきている。さらに，今年度は，防災学習を保護者とともに行い，通学路を中心に，災害時の行動のしかたや引き渡し訓練を行った。

２　ユネスコスクールとしての活動・全体計画

（１）他校との交流

中国大同市の第十八小学校からは日本の正月に合わせて，本校からは中国の春節の時期に合わせてお祝いのカードやプレゼントを作成し，送り合っている。岡山市立御休小学校へは，学校の行事やＥＳＤ学習の様子などをビデオレターにして送った。

これらの取り組みは，「ユネスコスクールの日」記念集会等で，保護者や地域の方々への公開もしている。

（２）消費者教育・福祉教育の主な計画

	福祉教育	消費者教育
１年	たのしもうあき（生活科） ※幼保小交流	さあみんなででかけよう（生活科） ※地域や公共施設への関心
２年	つくろうあそぼうくふうしよう（生活科）※異学年交流 レッツゴー！町たんけん（生活科）　※校区の店を通した消費生活の理解	
３年	つながり合う心Ⅰ（総合） ※介護施設・独居老人宅を訪問	まちではたらく人々（社会科） ※ものの選び方や買い方等
４年	つながり合う心Ⅱ（総合） ※障がいについて学ぶ	リサイクル大作戦（総合） ※持続可能な消費
５年	伝統を引き継ごう（総合） ※卒業生や新入生との関わり	食料生産，工業生産を支える人々（社会科） ※生産と消費の問題
６年	※各行事等を通した下級生との関わり	くふうしよう朝の生活（家庭科） ※商品の安全と危険の回避

３　特徴的な活動事例

（１）福祉教育

＜３年生「つながり合う心Ｉ（高齢者との関わり）」＞

校区の介護施設を訪問し，高齢者の方々と交流を図る。２回の訪問を通して，より相手の側に立った交流のしかたを考え，もっと楽しんでもらいたい，もっと元気になってもらいたいという思いを強くすることができた。

また，民生委員さんと一緒に独居老人宅の訪問も行った。地域ごとにグループをつくり，手紙とともに，どんど焼きの案内などをして，地域の高齢者とふれあう機会を設けた。

（２）消費者教育

＜２年生「つくろうあそぼうくふうしよう」＞

１年生を招待し，遊び大会を開いた。１年生もその後，幼保を招待して交流会を開くため，どのように進めていけばよいのか，交流会のイメージを持たせることができた。

さらに，２年生は，身近な材料を使った遊びを工夫することや後片付けやゴミの始末のしかたについて話し合っていくことを通して，リデュース・リユースについて考えていった。

（３）防災学習

今年度の防災学習は，いざというときにとるべき行動を「防災ダック」を使って，低学年にもわかりやすい動物の動きに例えて，みんなで確認した。また，保護者も一緒に地域ごとに集まり，６年生の進行で通学路を中心に，災害時の危険箇所や比較的安全で待機場所にできるところについて話し合い，地図上に表していった。

さらに，地域の防災士のアドバイスのもと，どのように引き渡しを行えばいいのかを検討し，訓練を行った。

４　本年度の成果と課題

○成果

・学習の中で常に「相手」を意識した活動を仕組むことができ，対象となる「ひと」について多面的に考え，働きかけていくことができた。

○課題

・ＥＳＤを多くの領域で取り組んできたため，本校の特色を十分に発揮することができていない。来年度は，各教科の内容やこれまでの取組を消費者教育・国際理解教育の視点から捉え直し，より関連性を持たせた特色ある教育活動を推進していきたい。

・資料の読み取りや批判的に考えることが苦手な児童が多いため，教科学習を含めてそれらの力をつけていくように指導していきたい。